

Instruction Bulletin

取扱説明書

3M™ スコッチティント™ ウィンドウフィルム プライバシーコントロールフィルム シリーズ

【適用範囲】

本書は以下の3M™スコッチティント™ウィンドウフィルムに適用します。

- ・ PCF00 / スコッチティント™ プライバシーコントロールフィルム 00
- ・ PCF30 / スコッチティント™ プライバシーコントロールフィルム 30
- ・ PCF45 / スコッチティント™ プライバシーコントロールフィルム 45

【施工】

施工手順・方法は一般的な3M™スコッチティント™ウィンドウフィルムに準じます。
詳細は見本帳の標準的な施工手順と注意点を参照ください。

【注意事項】

基本的な注意事項は3M™スコッチティント™ウィンドウフィルムに準じます。

【製品に特有の注意事項】

- 製品には上下左右がありますのでフィルムの向きをよくご確認のうえ施工してください。上、もしくは下方向に視界を制御したい場合はフィルムを巻き出し方向に沿って縦に施工し、左、もしくは右に視界を制御したい場合は横方向に施工してください(図1)。
- 本製品の特性上、スプライスの際は同じ側の端部を突き合わせる施工(テレコ貼り)はできません。
- 特殊な構造を持つ製品のため、稀に背景、角度、日射の条件によって図2のような点状の像の歪みが見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 角度により部分的に濃淡差が見えることがあります。図3のようにスプライス部では特に見えやすくなるため、あらかじめサンプルなどで確認のうえご使用ください。
- ロットにより濃淡やヘイズなど外観に多少の差異が生じることがありますので、可能な限り同一ロットを使用してください。
- 本製品を剥離する際に粘着剤がガラス面に固着している場合は、表面に施工液を噴霧して数十分蒸らすと比較的に剥離することができます。

図1 施工方向の例



図2 点状の像の歪み例



図3 スプライス部の濃淡差例

【一般的な注意事項】

- シーリング時のマスキングテープ
 - 弱粘着タイプのものを使用してください。
 - フィルム表面に長時間貼付しないでください（1時間以内）。
 - テープを剥がす際は、テープをフィルム外側に向かって出来るだけ180°に近い角度（ガラス面に平行になる角度）でゆっくり剥がしてください。

【製品選定に関する注意事項】

- 熱割れについて： フィルムを貼付することでガラスの中央部の温度が上がる場合があるので、施工環境によってはガラスが熱割れを起こすことがあります。フィルムの施工前に必ず熱割れ計算を行って、熱割れの可能性を確認してください。
- ガラス以外の基材へ施工について
 - ガラス以外の基材への施工： フィルムはガラス基材に施工することを前提とした製品設計になっており、光学特性、接着力、耐候性等の各種評価もガラスに貼付した状態でしか実施していないため、基本的にはガラス以外の基材への施工はおすすめしません。ガラス以外の基材への施工は保証の対象外であり、施主、及び施工者の判断でお使いいただくことになります。
 - フィルム上への施工（重ね貼り）： ガラスに既にフィルムが施工してあり、さらにその上にフィル

ムを施工する、いわゆる“重ね貼り”はお勧めしません。フィルムの重ね貼りは保証の対象外であり、施主、及び施工者の判断でお使いいただくことになります。

- プラスチック基材への施工： アクリル板、ポリカーボネート板等のプラスチック基材は表面から気体が発生してフィルム施工後に膨れや剥がれが生じることがあるため、プラスチック基材へフィルムを直接施工することはしないでください。プラスチック基材へ施工する場合は、まずプラスチック用下地調整フィルム SH2CL-P を施工し、その上に貼りたいフィルムを貼付することをおすすめします。SH2CL-P は耐摩耗性ハードコートがないので前述の C) 耐摩耗性ハードコートなしの注意点をご参照のうえ施工してください。

【使用環境（施工場所）に関する注意事項】

- 建築用途
本製品は、基本的に建築用途で想定される使用環境を考慮した製品設計、製品評価をしております。そのため、建築以外の用途でのご使用は保証の対象外となります。
- 直接フィルム面に日射が当たる環境
 - 本品は内貼り専用製品です。フィルム面に直接日射が当たった場合に十分な耐候性はありません。
- 結露環境
 - 常時結露が発生する環境（水中、温泉、サウナ、温水プール等）： 原則フィルムのご使用はお勧めしません。外貼可のフィルムを選び、外貼りをご検討ください。
 - 間欠的に結露が発生する環境： 3 M™ 耐水プライマー XB 5873 を全面に塗布して使用したうえで施工します。フィルムのエッジ部分から水が浸透する可能性がある場所については、当社製 3 M™ エッジシーラー #8600 を使用した施工を行ってください。
 - 結露のムラ： フィルム表面に結露が発生した場合、結露がムラになって見えることがありますが、製品性能には一切影響がありません。また、結露がなくなればムラは見えなくなります。
- 高温環境
 - 基本的に 65°C以下の環境で使用してください。ただし、スパンドレル部など、密閉空間で常に熱がこもりやすい場所への施工はフィルムの劣化が早まりますのでおすすめしません。
 - 常時 80°Cを超えるような環境でのフィルムのご使用はおすすめしません。80°Cに近い恒温環境への使用を検討される際には、当社へお問い合わせください。

【施工に関する注意事項】

- 施工時の温度環境
 - 推奨温度： 12°C～38°Cです。
 - 最低温度： 5°C以上の環境で施工してください。フィルムからの水抜け性が悪くなったり、施工後に粘着力が上らず、フィルムがずれてしまうことがあります。
- 施工時の直射日光： 直射日光が当たっていると施工液が乾燥しやすく気泡が残りやすくなるのでご注意ください。
- 施工器具の確認
 - スキージー： 傷やへたりがなく、またゴムが硬化していないことを確認してください。スキージング不足やむらの原因になります。
 - スクレーパー： 刃に傷、欠け、さび、異物付着がないことを確認してください。ガラスの傷を生じさせる原因となります。
- 剥離フィルムの浮き、剥がれ（ポップオフ）
 - ポップオフの発生： 剥離フィルムが粘着面から部分的に浮いたり、剥がれたりすることをポップオフといい、カットしたフィルムを小径に巻くと起こることがあります。
 - ポップオフの影響： ポップオフ発生後、直ちに貼付すれば問題ありませんが、ポップオフが生じたまま放置すると、フィルムを貼付後、剥離した部分が跡になって見えることがありますのでご注意ください。
- 同一製品ロットの使用

- 製品ロットにより色調に差異が生じることがあります。
- フィルムを隣接して貼付する場合は、原則として同一ロット製品を使用してください。
- 水貼り施工時直後の曇り
 - 水貼り施工後、フィルム面が曇って見える場合があります。これは、水貼り後しばらくの間は水分がガラスとフィルムの上にわずかに残っていて曇っている現象です。その後、水分の蒸発とともに曇りは消滅します。
 - 湿度が高かったり、気温が低い場合にはある程度日数を要することがあります。
 - 水抜けを促進するためには、室内温度を上げるか、強制的に送風することで、水分の蒸発を早めて曇りの消滅を早めます。
- 水貼り後の水泡
 - 水泡が残るケース： 水が抜けにくいフィルム（厚手フィルム、金属膜のあるフィルム、防犯フィルムなど）の施工の際や、水貼りの際のスキージングが不十分な場合、水貼り後に水泡が残ることがあります。
 - 基本的には水泡は消える： 小さな水泡は時間の経過とともに蒸発してなくなります。水が抜けにくいフィルムほど、水泡のサイズが大きいほど、温度が低いほど、湿度が高いほど、水泡が消えるまでに時間がかかります。状況次第では、全部消えるまでに数ヶ月かかる場合があります。
 - 一定以上の大きさの水泡は消えない： ただし、一定以上の大きさの水泡は時間が経っても完全に消えません。そうならないよう、常に確実なスキージングを行ってください。
- 施工液に使う洗剤： 必ず中性洗剤をご使用ください。アルカリ系洗剤を使用すると粘着剤が黄変する可能性があります。
- シーリングを使用する場合
 - フィルムがガラスの加重を担うことができないので、必ずガラスとシーリングとが直接接着する構造を確保してください。フィルムにシーリングをする場合は、あくまでも付加的な形でご検討ください。
 - フィルムとシーリング界面に継続的なせん断力がかかる場合、フィルムのたわみ・浮き、透過像のゆがみが生じる可能性があります。
 - 一部のシリコン系シーリング材の使用により、粘着剤の端部が黄色く着色する場合があります。

【使用上の注意事項】

- フィルム表面に硬いものが接触しないようにしてください。表面に傷がつくことがあります。
- フィルム表面にステッカーやシールを貼ったりマジックなどで書いたりしないでください。

【輸送・保管】

- 保管環境： 高温・高湿と直射日光を避け、0～38℃以下の暗所に保管してください。短時間であれば、多少の厳しい条件でも使用は可能ですが、変色、やけ等の外観変化や性能劣化が早まる可能性があります。
- 使用期限： ご購入後1年以内に使用してください。
- 保管方法：
 - ゆるみがないように巻いておく： 使用後のフィルムロールはゆるみがなくなるようにしっかり巻き締めて、端をテープで止めてフィルムがほぐれてこないようにしてください。フィルムの巻きがゆるいまま保管すると、剥離フィルムの浮き・剥がれ（ポップオフ）が起こり、そのまま放置すると、フィルムを貼付した時に剥離した部分が跡になって見えることがあります。
 - ポリ袋に入れる： フィルムロールは専用のポリ袋に包み、開封前と同様の状態で保管してください。湿気を防止することで、製品の劣化を抑制します。
 - 宙ぶり保管： フィルムロールはロールの両端にキャップを取り付け、必ず宙ぶりの状態で専用の梱包箱へ入れて保管してください。宙ぶりの状態でない場合、フィルム表面に荷重がかかり、表面の傷やしわ等、外観不具合の原因となる可能性があります。一つの箱に複数本のロールを入れる場合も、宙ぶり状態にできなくはなるので、必ず一本のフィルムロールを一つの箱に収納してください。
 - カット済みのシートの保管： フィルムロールからカットしたフィルムは、その都度使い切るようにしてください。シート状で保管すると、外観不具合や性能劣化の原因となる可能性があります。

【清掃／メンテナンス】

- フィルム表面の汚れ： フィルムの性能を維持するために定期的に清掃を行ない、フィルム表面に汚れが付着したままにしないでください。
 - 汚れの種類によってはフィルムの劣化が早くなる場合があります。
 - 汚れの種類によって日射吸収率が高くなり、熱割れを起こす可能性があります。
- 清掃時の注意点
 - ガラス用のゴムスキージーで水洗いするか、あるいは柔らかい布で水拭きしてください。
 - 外貼り用のフィルムの場合は、必ず事前に多量の水で砂やほこりを除去してから上記の清掃を行ってください。
 - 以下は表面を傷つけるおそれがあり厳禁です・
 - ✓ 乾拭き
 - ✓ ブラシや研磨剤などの使用

【廃棄】

本製品の主素材はポリエステル系樹脂です。自治体の法令／指示に従って廃棄処分してください。

- 6 / 6 -

製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて負うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り当社は責任を負いません。

3M、Fasara、ファサラ、Scotchtint、スコッチティントは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社

© 3M 2020. All rights reserved

IB-CSDWF-003-01

2020/7/29